

地球環境に学ぶ 2022年4月度 活動報告 ところざわ倶楽部

2022. 5. 17 地球環境に学ぶサークル

「地球環境に学ぶサークル」では久々のアウトドア活動として「SDGs ウォーク:カルチャーパーク散策と東部クリーンセンター見学」を実施、幸い曇天で風もあり暑くもなく快適でした。約9000歩と予想以上の距離でしたが、全員元気に完歩しました。カルチャーパークは散策コースとしてお勧め、東部クリーンセンターはごみ分別の重要性を再認識させられ、一見の価値があります。

1. 日時:4月26日(火)

参加:「地球環境サークル」中原、塚本、中島、井出、小野、原田、森野、小田原、「自然と農業」中村さん、「トトロ森で何かしたい、アジア研」福本さん



当日の行程は次の通り。

- 10:45 カルチャーパーク集合
- 11:00 「みどりの応援隊」の活動見学
- 11:45 パーク内で昼食弁当
- 12:15 パークを散策後、東部クリーンセンターへ
- 13:00 東部クリーンセンター見学 14:30 解散

2. カルチャーパーク散策

所沢市の自然環境保全型の公園で、28,000㎡の広大な面積。毎月ボランティアでパークの手入れやゴミ拾いをされている「みどりの応援隊」深澤さんに丁寧な解説と案内をして頂いた。キャンプ場、バーベキュー施設、雑木林の中の遊歩道、かわいらしい金ラン・銀ランの花、6月にオープンする巨大な滑り台等、大人から子供まで楽しめる所沢の新しい公園。



3. 東部クリーンセンター見学

(1)所沢市の東半分を担当する清掃工場。クリーンセンターの方々から施設概要説明を受けた後、施設全体を見学。我々のサークル名を事前登録したためか3

名も対応していただいた。コロナで小学生の見学も絶え、3年ぶりの説明のためやや緊張気味であった。

(2)焼却ごみ

家庭から出た紙ごみ、生ごみ等が24時間体制で炉に投入され焼却される。

(3)不燃・粗大ごみ

破砕機で細かく裁断された後、磁力や風力で選別。アルミ、鉄はそれぞれ圧縮された塊として再利用に回される。ガラスは道路の舗装材料に利用される。

(4)プラスチックごみ

プラごみマーク付で、汚れてないものを圧縮し再利用に回される。汚れたプラごみは手作業で選別され焼却ごみに混ぜて焼却。汚れたプラごみは綺麗に洗浄して出さないとリサイクルされない。



(5)ダイオキシン類対策

850℃以上の高温で燃焼するため、ダイオキシンは分解され、さらに活性炭で吸着処理される。

(6)燃焼排熱の利用

排熱でタービンを回し最大5000kw発電。発生電気はクリーンセンターの稼働、照明、空調等に使用され、余った電気はところざわ未来電力に販売される。

(7)焼却灰の利用

焼却灰は埋め立てやセメント材として利用される。

(8)センターの建物

6階に上がるとカルチャーパーク、周辺の住宅、畑が良く見える。センターの屋根は緑化されている。

(9)ゴミ収集車

電気自動車のごみ収集車が導入され、クリーンセンターで発電した電気を充電して走っている。今のところ一台のみ。